



ここのえ



令和6年3月22日発行第14号
桜学園つくば市立九重小学校

1年間ありがとうございました

3月20日の春分の日を過ぎ、日に日に春の気配を感じる頃となりました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、各種の感染症予防を考えながら、教育活動を進める1年でした。それでも、少しずつできることが増え、対面での行事を計画することもできました。多くのことに挑戦し、一生懸命に学校生活を送る子供たちの力に感動した1年でした。

保護者の皆様方におかれましても、1年間、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきまして本当にありがとうございました。また、感染症対策への御協力のおかげで、無事修了式を迎えることができました。心より感謝申し上げます。活力あふれる学校のために、職員一同これからも努力してまいります。来年度も変わらぬ御支援・御協力をお願いいたします。

継志式を振り返って

3月18日（月）に、継志式が行われ、37名の卒業生が立派に巣立っていきました。卒業証書授与の場面で見ると卒業生一人一人の表情や、答辞の言葉や合唱から、6年間学んだことを力に、中学校へ希望をもって進もうとする気持ちが伝わってきました。また、今年は在校生の代表として5年生が式に参加し、送辞や合唱で見送りました。

2月29日（木）には、在校生が、「6年生を送る会」を開催しました。今年は、5年生が中心となり企画し、体育館で対面での送る会を実施することができました。各学年から卒業生に歌や合奏、メッセージ、呼び掛け、手作りのプレゼントなどを贈りました。どの学年も卒業生への感謝の気持ちにあふれていました。卒業生は在校生に向けて合唱「翼をください」を披露しました。在校生は、6年生の歌声を聞き、九重小の伝統をしっかりと引き継いでいこうと感じていたようです。在校生の皆さんには、卒業生が残してくれた伝統を引き継ぎ、九重小学校をさらに発展させてくれることを期待しています。



【「6年生を送る会」の様子】



【祝い品授与】



【記念品贈呈】



【来賓祝辞】

進級に向けて

明日から春休みに入ります。そして、4月からは、1つ上の学年に進級し、新しい生活がスタートします。1年前の4月を思い起こすと、できるようになったことがたくさんあることに気づくと思います。今年度の始業式では、九重小の合言葉を確認しスタートしました。「心優しく友達に」「心を込めて何事も」「のびのびチャレンジ」「笑顔で挨拶」です。1年間を振り返り、友達と協力して生活したこと、粘り強く頑張った学習、挨拶を頑張ったことなどを思い出し「自信」と「誇り」をもち、次の学年へ「夢」や「希望」を胸に、進級してほしいと思います。

修了式での校長講話では、5年生は、いよいよ九重小の最高学年、学校のリーダーという立場になるため、6年生のあとを継いで、九重小をさらに前進させてほしいと話しました。1年生から4年生も、4月から新しい1年生が入学してくるため、上級生として頑張してほしいと話しました。

次の学年での、一人一人のさらなる活躍を心より祈念しています。